

## 揖斐農林事務所の普及活動状況 令和3年8月25日現在

### 今月の重点活動

#### ■ 沢あざみ 沢あざみを囲む会を開催

7月27日に、揖斐川町かすが保健センターで飛騨美濃伝統野菜「沢あざみ」を囲む会を実施した。第一部は、料理研究家の講師を迎え、手軽にできる若者向けの沢あざみ料理3品を実習した。

また、第二部では、生産者、地域おこし協力隊員、関係機関で、今後の振興について検討を行った。飛騨美濃伝統野菜の沢あざみが栽培されている春日地域には、この地だけで栽培されている在来農産物が数種類あることから、それらの農産物と沢あざみを伝承する方法について話し合った。

今後、地域の在来農産物の調査を進め、年内に飛騨美濃伝統野菜の認定申請を行う予定である。



【料理実習】

### ぎふ農業・農村を支える人材育成

#### ■ 新規就農研修生 揖斐地域就農協議会主催リーダー研修

7月30日に、新規就農研修生および就農間もない農業者に対し、今年度第1回の研修を実施した。内容は、農業に取り組む上で必要な基礎的知識・技術の習得を目的とし、講師を農業普及課長が担当した。

7月14日に実施した第2回揖斐地域就農協議会において、初回研修は農業普及課長が、県及び地域農業の特徴と施策、心構え等について講義を行うことが決定しているため、研修生等4名に対し、就農時に知っておくべき知識を全方位的に説明を行った。幅広い内容であったが、受講者は熱心に聴講していた。



【講義の様子】

### 安心で身近な「ぎふの食」づくり

#### ■ 茶 (農) 桂茶生産組合 肥料試験

8月27日に(農)桂茶生産組合は、肥料試験のための土改材の散布を行った。8月に行う施肥は、主に土づくりのために行われ、1年の中でも特に重要な作業である。試験区に「アヅミン(40kg/10a)」、慣行区に「ふりかけ堆肥エコ(100kg/10a)」を施肥し、省力化が可能であるか試験を行う。

農業普及課では、今後も継続的に調査を行い、導入の検討をしていく。



【肥料散布の様子】

## ぎふ農畜水産物のブランド展開

### ■ハツシモ採種ほ ほ場審査

8月19日に農業普及課を中心に種子生産者、JA、全農岐阜とハツシモ採種ほ場の審査を行なった。その結果、病虫害等は認められず順調に生育が進んでいる。

また、揖斐管内では今年度から新たに大豆種子の生産も始まった。梅雨明け後、播種作業は順調に進み、これまでのところ生育は良好である。

今後のほ場審査は、9月下旬にハツシモ採種ほ、9月上旬と11月上旬に大豆採種ほを予定しており、関係者と連携し優良種子の生産を支援する。



【ほ場審査の様子】

### ■かき・大野町かき振興会 袋掛け富有柿栽培研修会の開催

8月1日に、大野町かき振興会会員を対象とした袋掛け富有柿の栽培研修会が開催され、30名程度の会員が参加した。

富有柿に袋掛けを行い、長期間樹上で果実を成熟させることで糖度が高くなり、着色が進むことが特徴。その中から選抜された柿は、「果宝柿」、「紅富有」として付加価値が付き高単価で取引される。

農業普及課から、袋掛け栽培の方法、注意点、病虫害防除等について現地にて説明を行った。また、振興会会長が実際に袋掛け作業を行い、袋掛けを行う果実、枝や着果位置等の注意点について説明を行った。産地のブランド柿生産に向け、意識統一を図った。



【研修会の様子】

### ■フランネルフラワー 秋の出荷に向けてほ場巡回開催

フランネルフラワーの秋出荷に向けて、8月5日に農業技術センター、農業経営課及び農業普及課によるフランネルフラワーのほ場巡回を行った。

揖斐地域では、秋作は9月から12月にかけての出荷となる。夏季の高温の影響等もあり、需要期である10月頃の安定出荷に繋げるため、微細霧冷房やLED補光等の導入が行われてきている。今回はさらに自動遮光カーテンの試験導入が実施されることで、秋作の安定出荷に繋がるのが期待される。



【現地巡回の様子】